



2017年 3月期 第1四半期決算説明会

2016年 7月20日
株式会社エンプラス

目次

- 2017年3月期 経営基本方針
- 2017年3月期 第1四半期損益実績
- 2017年3月期 第1四半期決算総括
- 2017年3月期 通期計画(連結)
- 各事業の動向と事業戦略

Operational Excellence
業務改善プロセスの定着

Specification Technology
スペックビジネスの推進

Multiple Growth
多様な成長戦略の実行

2017年3月期 第1四半期損益実績(連結)

(単位: 億円)

	2017/3期	2016/3期	増減	2017/3期	
	1Q実績	1Q実績		上期計画	通期計画
売上高	76.2	96.7	△21.1%	170.0	340.0
売上原価率	51.7%	45.0%	6.7pt	51.7%	51.7%
営業利益	9.6	27.3	△64.8%	25.0	50.0
経常利益	8.1	27.9	△70.8%	25.0	50.0
当期純利益	7.5	19.3	△61.2%	17.0	34.0
包括利益	△9.0	22.5	△140.1%	—	—
1株当り当期純利益	58.32円	142.31円	△83.99円	132.84円	265.69円

連結四半期損益実績推移

(単位: 億円)

	2017/3期		2016/3期		
	1Q	4Q	3Q	2Q	1Q
売上高	76.2	91.8	101.1	97.7	96.7
売上原価率	51.7%	48.3%	44.2%	47.1%	45.0%
営業利益	9.6	17.7	29.1	25.0	27.3
経常利益	8.1	15.2	29.3	25.6	27.9
当期純利益	7.5	△2.0	20.5	18.3	19.3
1当期株当り純利益	58.32円	△16.63円	159.93円	139.48円	142.31円

2017年3月期 第1四半期セグメント別実績(連結)

(単位: 億円)

	2017/3期		2016/3期		
	1Q	4Q	3Q	2Q	1Q
エンプラ事業	30.5	33.0	31.4	32.7	32.6
売上原価率	66.5%	65.8%	63.5%	65.4%	64.9%
営業利益	△0.1	1.7	1.6	1.3	1.9
半導体機器事業	20.5	22.8	23.5	22.3	20.3
売上原価率	50.1%	48.7%	46.5%	47.5%	45.0%
営業利益	2.1	4.1	4.8	4.3	4.3
オプト事業	25.1	35.9	46.1	42.6	43.6
売上原価率	35.1%	31.9%	29.8%	32.8%	30.1%
営業利益	7.6	11.8	22.6	19.2	21.1
売上合計	76.2	91.8	101.1	97.7	96.7
売上原価率	51.7%	48.3%	44.2%	47.1%	45.0%
営業利益	9.6	17.7	29.1	25.0	27.3

▶▶▶ 決算総括<前1Q比>

◆ 原価率

2017/3期 1Q	2016/3期 1Q	差異
51.7%	45.0%	6.7 _{pt}

➤ 高付加価値品の販売減、円高による売上の押し下げ

◆ 販売管理費

(単位: 億円)

2017/3期 1Q	2016/3期 1Q	差異
27.1	25.7	1.4

➤ 研究開発費の増加、退職給付費用の増加

◆ 営業外損益

(単位: 億円)

2017/3期 1Q	2016/3期 1Q	差異
△1.4	0.6	△2.0

➤ 関係会社株式評価損 1.2億円、為替差損 0.6億円

◆ グローバル経営の進化

➤ Enplas (Europe) Ltd. を設立

- 所在地: イギリス ヒースロー
- 設立日: 2016年5月

主な目的

- 新規事業開発の推進
- 世界最先端の技術、人材の取り込み
- 欧州における事業の多角化

⇒ **当社グループの企業価値向上に貢献**

▶▶ 2017年3月期 通期計画(連結)

2017年3月期 連結損益計画(修正なし)

(単位: 億円)

		2017/3期		
		通期	上期	
売	上	高	340.0	170.0
売	上	原 価 率	51.7%	51.7%
営	業	利 益	50.0	25.0
経	常	利 益	50.0	25.0
当	期	純 利 益	34.0	17.0
1 株	当	り 当 期 純 利 益	265.69円	132.84円

2017年3月期 セグメント別売上計画(修正なし)

(単位: 億円)

	2017/3期	
	通期	上期
エンプラ事業	132.0	64.0
半導体機器事業	100.0	48.0
オプト事業	108.0	58.0

▶▶▶ 2017年3月期 計画(ご参考)

(単位: 億円)

	2017/3期		2016/3期
	通期計画	1Q実績	通期実績
設備投資	68.0	51.8	21.5
減価償却	27.0	5.8	27.0
研究開発	11.0	2.6	11.0

※設備投資以外は2016年4月20日の計画から変更してありません。

◆ Innovationへの積極投資

(新市場への参入・新製品の開発・市場の創出)

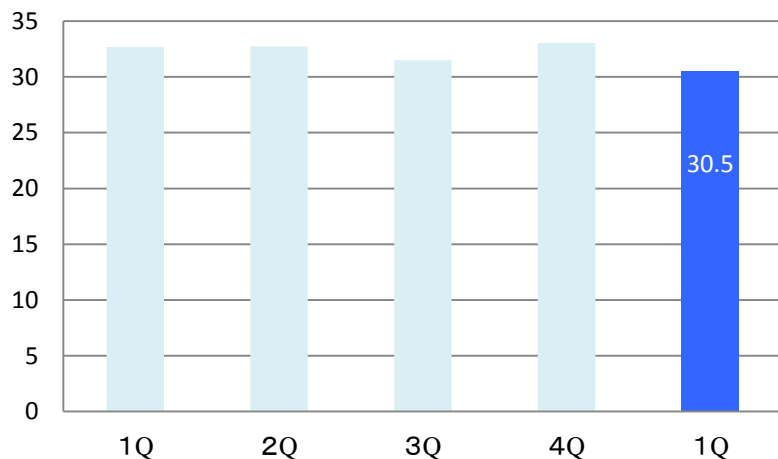
- マーケティング機能の強化
- 戦略製品の開発促進
 - 1) イノベーティブな差別化
 - 2) 強力な知財の保有
 - 3) 強力な市場(お客様)の支持
- 最先端評価技術の強化

▶▶ 各事業の動向と事業戦略

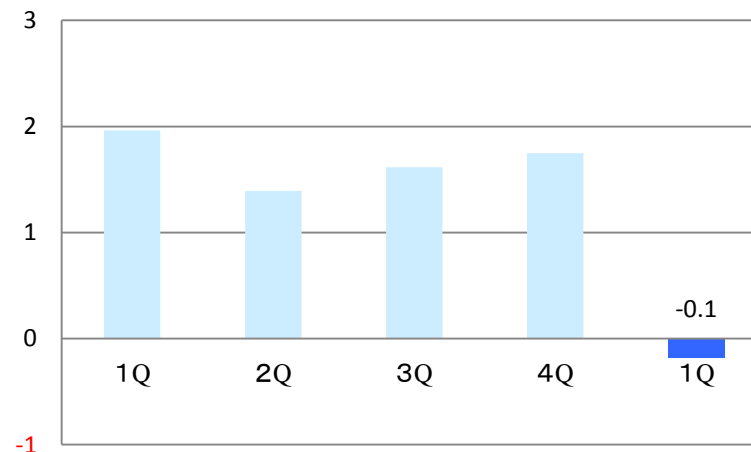
エンプラ事業

(単位: 億円)

売上高



営業利益



- スペックを明確化したソリューション提案の強化
- 戦略製品の徹底的な横展開
- 高効率グローバル生産基盤の構築

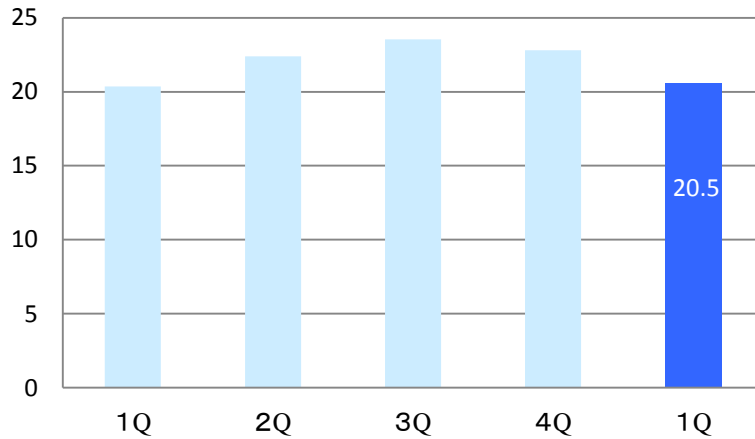
2017年3月期
売上計画: 132億円

(1Q売上実績: 30.5億円)



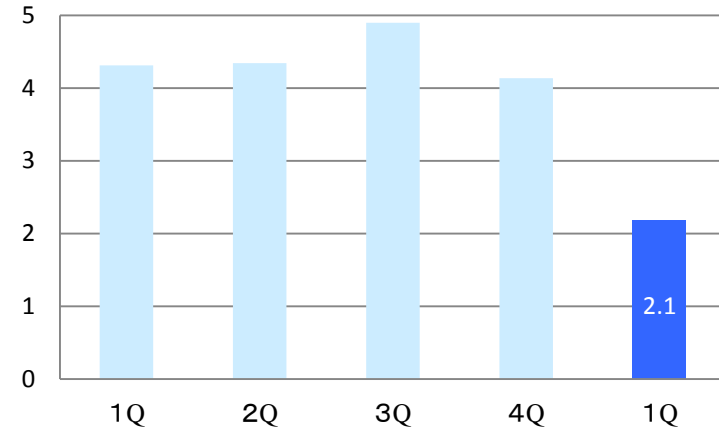
半導体機器事業

売上高



営業利益

(単位: 億円)

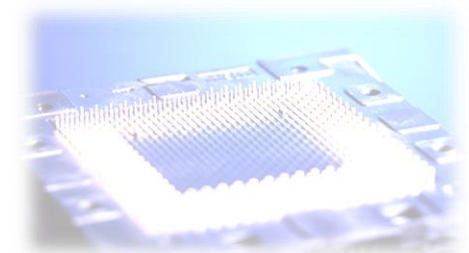


- 事業環境変化への対応力強化
- グローバル生産体制の強化
- 市場で勝てるソリューション開発(スペックの追求)
- 圧倒的スピード対応による差別化

2017年3月期

売上計画: 100億円

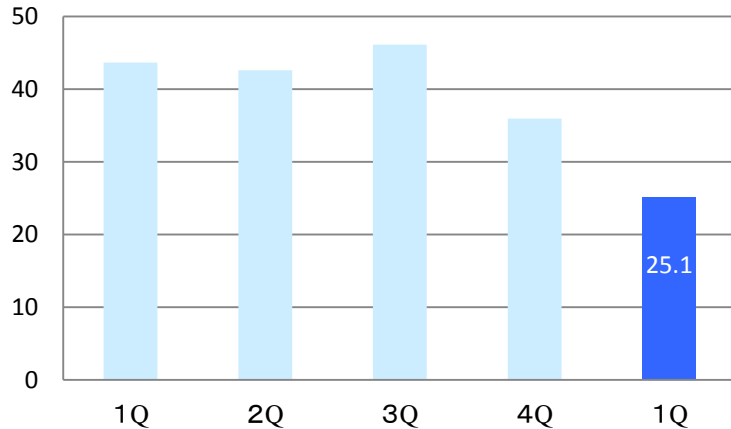
(1Q売上実績: 20.5億円)



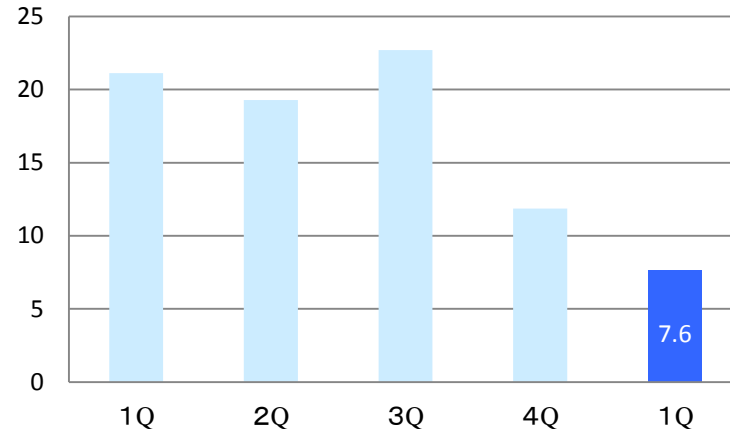
▶▶▶ オプト事業

(単位: 億円)

売上高



営業利益



- ▶ 顧客基盤の拡大による事業の安定成長
- ▶ 生産体制の最適化
- ▶ 高速通信分野への積極参入

2017年3月期

売上計画: 108億円

(1Q売上実績: 25.1億円)





株式会社エンプラス

決算説明会

<http://www.enplas.co.jp/>

(東証1部 6961)

本資料で記述されている業績見通し並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、さまざまな要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。